

長い休校期間が終わり、今日から学校が再開しました。みなさん、元気で過ごしていましたか？

進路に対する心配や不安は尽きないと思いますが、今のところ、入試については、時期や方法・内容についての変更情報はありません。現時点では例年通り行われることを前提として引き続き勉強を頑張りましょう。

たとえ何か変更があったとしても、各受験生の間には不公平にならないような方策がとられると思います。入試について、可能な限り同じ条件で受験生の学力を判定したいという思いは、公立学校も私立学校も同じです。みなさんが不安を少しでも軽減する方法があるとしたら、それは今できることを一生懸命にやることです。毎日自分で計画を立てて学習し学力の向上をめざすのか、だらだらと過ごしてしまうのかは自分の考え方・行動にかかっています。

前号の進路だよりでもお知らせしましたが、今年は各種進学説明会などのイベントが中止、延期になっています。(例年行われている全公立展は中止)

が、各校ホームページなどによる学校紹介、またはオンライン説明会やSNSを活用した情報発信を行っている学校もあります。是非、インターネットを使って情報をチェックしましょう。神奈川県の公立入試についての情報は、『神奈川県の入学者選抜について』(<https://www.pref.kanagawa.jp>)を確認しましょう。入試について中学校に何か変更のお知らせが来ましたら、この進路だよりでお知らせをしていきますので、これからも注目してください。

さて、今日は、「中学校卒業後の進路」についてお知らせをします。

「中学校卒業後の進路」を考えたとき、

将来に向けての自分の見通し、どのような職業に就きたいか、どのような社会生活を送りたいか、このことをしっかり考えることで1年後が変わっていきます。まずは、ここから始めていきましょう。

中学校卒業後の進路を大きく分けると、次の3つになります。

- ①就職、家業従事
- ②高等学校(全日制・定時制・通信制)、高等専門学校へ進学
- ③高等専修学校、職業技術校、高等学校別科(理容・美容)などへ進学

この中の、どの進路を選択していきますか。次のことを参考にし、考えをかためていきましょう。

- ア) 自分の性格、関心、学力の検討
- イ) 将来の職業、習得したい資格、技術の検討
- ウ) 大学(短期大学)への進学希望の有無

家庭の状況、保護者の考え

進路の選択にあたっては、家庭で十分に話し合う必要があります。また、基本的には保護者と学級担任のアドバイスのもとに、生徒自らの意思と責任において決定することが大切です。とはいうものの、このことは決して簡単なことではありません。生徒は自らの興味・関心・適性を把握し、家庭の経済状態や生徒の学力などを考慮して、家族で、慎重に考えていく必要があります。また、学級担任と生徒との「二者面談」や保護者の方を交えた「三者面談」もありますので、有効に利用して、よりよい進路の決定に役立ててください。

自らの日常生活の取り組みとして

- ①目標をもってはじめのある日常生活を送れるようにしよう。
- ②学習に真剣に取り組み、基礎的な学力をしっかりとつけよう。
- ③委員会や係活動、清掃など自分のやるべきことにまじめに取り組もう。
- ④自分の考えをしっかりと伝え、保護者や先生と十分に話し合おう。

※中学校卒業後に就職を考えている場合、ハローワークとの連携が必要となりますので、早めに担任を通して連絡をしてください。(6月12日〆切)

お知らせ

「**輝けきみの明日ー行きたい・知りたい公立高校**」の冊子販売について

県内の公立高校の概要、入学者選抜制度の説明、各学校の紹介のページ等が掲載されています。

代金900円は本とひきかえに受け取ります。(7月頃の予定)

希望者は、6月10日(水)までに申込書を担任に提出してください。